

国際社会と法 I

Date _____

1 講師

Name: 新垣修 Prof. Arakaki, Osamu

E-mail : osamu.arakaki.76@hosei.ac.jp

2 概要

国際社会における法の役割について学びます。具体的には、毎回取り上げる様々なトピックを通じ、国際法や国内法が果たす機能について理解を深めます。

3 言語

日本語

4 目標

- (1) 国際法の基礎的理解をめざします。
- (2) メディアで取り上げられる国際時事問題を法的視点から捉え、これについて議論できるようにします。

5 内容

- 第1回 プロローグ：法とは何か？
- 第2回 国際社会における法と政治
- 第3回 法政大学は独立国家になれるか？
- 第4回 戦争と平和について考えよう
- 第5回 感染症
- 第6回 国籍と無国籍
- 第7回 ツアーでみるニュージーランド
- 第8回 人道支援：救済と正義のジレンマ
- 第9回 気候変動で海に沈む国々？
- 第10回 ルワンダとジェノサイド（1）
- 第11回 ルワンダとジェノサイド（2）
- 第12回 エピローグ&授業内試験

6 成績評価基準

授業内試験 50%

小レポート 50%

7 教科書・参考文献

（教科書）

松井芳郎・他『国際法』（第5版）有斐閣Sシリーズ

（参考文献）

『国際条約集』有斐閣

中谷和弘・植木俊哉・河野真理子・他『国際法』有斐閣アルマ

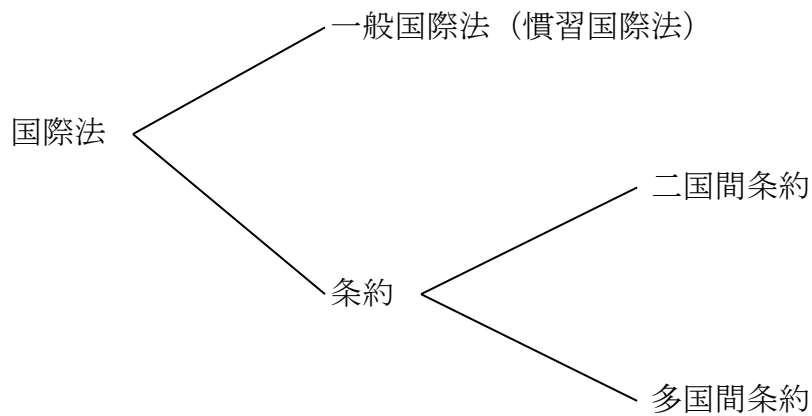
その他、このアウトライン集の中で紹介します。

8 注意事項

(教室での対面授業が実施されるまでの期間) 1 学習支援システムで文字情報を発信します。その内容をしっかり把握してください。 2 学習支援システムで週に1回の小レポートの課題をお知らせします。 3 提出方法(システムへのアップロードやメールでの送信など)は 別途連絡します。

第1回 プロローグ：法とは何か？

- 1 はじめに
- 2 法とは何か？
- 3 国際法の法源



- 4 国際法の変化
- 5 まとめ

教科書 第1章3

参考文献

- 田畑茂二郎『国際法』岩波書店
高野雄一『国際法概論』弘文堂
山本草二『国際法』有斐閣

20 年 月 日

第2回 国際社会における法と政治

- 1 はじめに
- 2 国際法の法的性質
 - (1) 否定説（国際法は法でないとする立場）
 - (2) 肯定説（国際法は法であるとする立場）
- 3 法と社会の構造
- 4 国際社会における法と政治の関係
- 5 まとめ

参考文献

田畑茂二郎『国際法』岩波書店
高野雄一『国際法概論』弘文堂
山本草二『国際法』有斐閣

第3回 法政大学は独立国家になれるか？

はじめに

1 国家であるということ：主権

- (1) 主権とは？
- (2) 歴史的背景
- (3) ウェストファリア条約（1648年）
- (4) 国際法における主権
- (5) 主権が属するのは誰か？
- (6) 国家主権に関する現代の課題

2 国家承認

- (1) 法政大学は独立国家になれるか？
- (2) 国家承認とは？
- (3) 国家承認の法的性質
 - ① 創設的效果説
 - ② 宣言的效果説
- (4) 国家と認められるための要件
- (5) 国家承認の方法

まとめ

参考文献：

田畑茂二郎『国家主権と国際法』日本評論社（1950年）

広瀬善雄『国家・政府の承認と内戦（上）承認法の史的展開』信山社（2005年）

広瀬善雄『国家・政府の承認と内戦（下）承認法の一般理論』信山社（2005年）

第4回 戦争と平和について考えよう

- 1 はじめに
- 2 正戦論
 - (1) キリスト教と正戦論
 - (2) グロティウスの戦争論
- 3 無差別戦争観
 - (1) 正戦論への批判
 - (2) 無差別戦争観
 - (3) 無差別戦争観への批判
- 4 国際連盟の時代：戦争の違法化
 - (1) 不戦条約
 - (2) 国際連盟規約及びその他の措置
- 5 国際連合の時代：武力行使禁止
 - (1) 武力の行使の禁止
 - (2) 集団安全保障制度
 - (3) 冷戦体制下での国連の麻痺
- 6 平和のための結集決議と国連平和維持活動（PKO）
 - (1) 1950年国連総会決議「平和のための結集決議」
 - (2) 1962年国際司法裁判所（ICJ）勧告的意見
- 7 冷戦時代の PKO
 - (1) PKO 5原則
 - (2) PKO の「6章半」的性格

8 冷戦後の PKO

- (1) 冷戦の終結と PKO の変化
- (2) カンボジア暫定行政機構 (UNTAC)

9 まとめ

参考文献：

筒井若水『違法の戦争、合法の戦争 国際法ではどう考えるか?』朝日新聞社(2005年)

国際連合(編)『ブルーヘルメット』講談社(1986年)

川端 清隆・持田 繁『PKO 新時代：国連安保理からの証言』岩波書店(1997年)

日本平和学会『人道支援と平和構築』早稲田大学出版部(2005年)

20 年 月 日

第5回 感染症

- 1 はじめに
- 2 19世紀の国際衛生条約
- 3 20世紀前半の国際衛生条約
- 4 国際衛生規則
- 5 WHO
- 6 新型コロナウイルス危機から考える
- 7 おわりに

第6回 国籍と無国籍

- 1 はじめに
- 2 国籍とその決定
 - (1) 歴史
 - (2) 国内管轄事項
- 3 国籍の得喪
 - (1) 先天的取得
 - (2) 後天的得喪
- 4 国際法の機能：国籍の調整
 - (1) 国籍の抵触
 - (2) 重国籍
- 5 無国籍
 - (1) 無国籍と国際法
 - (2) 無国籍と日本

参考資料

テキスト 170-171 頁

阿部浩己『無国籍の情景：国際法の視座、日本の課題』

<<http://www.unhcr.or.jp/html/protect/pdf/StatelessStudy.pdf>>

新垣修『無国籍条約と日本の国内法：その接点と隔たり』

<<http://www.unhcr.or.jp/html/2015/05/info-150521.html>>

第7回 ツアーでみるニュージーランド

はじめに

1 ニュージーランドの概況

| | |
|----|--|
| 面積 | 27万534平方キロメートル（日本の約4分の3） |
| 人口 | 415万人（2006年9月、NZ統計局） |
| 首都 | ウェリントン（18.8万人、2006年6月末、NZ統計局） |
| 民族 | アングロサクソン系及び先住民マオリ系（約56万5千人13.6% 2006年国勢調査） |
| 言語 | 英語、マオリ語 |
| 宗教 | 英国国教会14.3%、長老派9.9%、カソリック13.1%、メソジスト派3.0%、（キリスト教全宗派合計 約55%）、無宗教33.5%等（2006年 国勢調査） |

（外務省ホームページより）

2 異文化の衝突と共存

- （1）パケハ（白人）とマオリの文化、正義、歴史の交錯
- （2）ワイタンギ審判所

3 ニュージーランドの難民保護制度

4 ニュージーランドでの体験：自分の発見と発掘

まとめ

参考文献：

青柳まちこ『ニュージーランドを知るための63章』明石書店（2008）

第8回 人道支援とそのジレンマ

- 1 はじめに
- 2 国際赤十字の誕生
 - (1) ソルフェリーノの戦いとデュナン
 - (2) 戦場にも博愛を
 - (3) 創設
- 3 その後のデュナン
 - (1) 排除：敗訴と確執
 - (2) デュナンの「再発見」
 - (3) 第1回ノーベル平和賞受賞
- 4 国際人道法の発展
- 5 人道支援とは何か？
- 6 人道支援のジレンマ
 - (1) 国際赤十字委員会：人道支援における中立・公正
 - (2) 国境なき医師団からの挑戦
- 7 おわりに

参考文献

- アンリー・デュナン（木内利三郎・訳）『赤十字の誕生：ソルフェリーノの思い出』白水社（1959年）
- エーテル・コッハー・ハンス・アマン（九頭見和夫・訳）『赤十字の父：アンリー・デュナン』春風社（2005年）

20 年 月 日

第9回 気候変動で海に沈む国々？

はじめに

1 気候変動・海面上昇と適応策

2 ツバル

(1) ツバルの概要

(2) ツバルと環境

3 国外移住政策と外交

(1) 豪州

(2) ニュージーランド

4 開発と適応策

(1) 開発政策と適応策の統合

(2) 分野別の動向

① 沿岸浸食防止・回復

② 農業

③ 水資源

まとめ

参考文献：

神保哲生『ツバル：地球温暖化に沈む国』春秋社（2007）

第10回 ルワンダとジェノサイド（1）

はじめに

ルワンダ略史

| 年月 | 略史 |
|------------|---|
| 17世紀 | ルワンダ王国建国 |
| 1889年 | ドイツ保護領（第一次大戦後はベルギーの信託統治領） |
| 1961年 | 王政に関する国民投票（共和制樹立を承認） 議会在カイバンダを大統領に選出 |
| 1962年 | ベルギーより独立 |
| 1973年 | クーデター（ハビヤリマナ少将が大統領就任） |
| 1990年10月 | ルワンダ愛国戦線(RPF)による北部侵攻 |
| 1993年8月 | アルーシャ和平合意 |
| 1994年4月 | ハビヤリマナ大統領暗殺事件発生をきっかけに「ルワンダ大虐殺」発生（～1994年6月） |
| 1994年7月 | ルワンダ愛国戦線(RPF)が全土を完全制圧、新政権樹立 （ビジムング大統領、カガメ副大統領就任） |
| 2000年3月 | ビジムング大統領辞任 |
| 2000年4月 | カガメ副大統領が大統領に就任 |
| 2003年8月 | 複数候補者による初の大統領選挙でカガメ大統領当選 |
| 2003年9-10月 | 上院・下院議員選挙（与党 RPF の勝利） |

外務省ホームページ「ルワンダ」＜<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/rwanda/data.html>＞より

1 ルワンダと植民地政策

(1) 民族構成と首都

人口は約 900 万人。フツ（85%）、ツチ（14%）。首都はキガリ

(2) ドイツの植民地政策

(3) ベルギーの植民地政策の転換

(4) ルワンダの独立（1962 年）

2 ウガンダにおけるツチ難民

(1) ツチ難民とウガンダの「同盟」化

(2) ルワンダ愛国戦線（Rwandese Patriotic Front : RPF）とルワンダへの侵攻

(3) アルーシャ協定（Arusha Accords）

3 ルワンダ危機

(1) ジェノサイド

(2) RPF のキガリ侵攻

(3) 国際社会の消極的対応

参考文献：

アニック・カイトジ『山刀で切り裂かれて：ルワンダ大虐殺で地獄を見た少女の告白』アスコム（2007 年）

レヴェリアン・ルラングア『ルワンダ大虐殺：世界で一番悲しい光景を見た青年の手記』マックス（2006 年）

フィリップ・ゴーレイヴィッチ『ジェノサイドの丘：ルワンダ虐殺の隠された真実』WAVE 出版（2003 年）

20 年 月 日

第11回 ルワンダとジェノサイド（2）

はじめに

- 1 平和構築とは？
- 2 平和構築における和解
- 3 ルワンダのガチャチャ
- 4 ガチャチャと和解

おわりに

参考文献

日本平和学会『人道支援と平和構築』早稲田大学出版部（2005）